

清新中学校だより 清風

令和4年3月1日
第193号

「運」を味方につけるには

校長 江戸谷 智章

ご存知の方も多いと思いますが、お正月恒例のテレビ番組の一つに「芸能人格付けチェック」という番組があります。私の家族はこの番組が好きで、よくわかりもしないのに「こっちの方が本物っぽい！」などと言っては毎年楽しんでいます。今年の番組では、X JAPANのYOSHIKIさんが個人14連勝を達成したりして、やっぱり一流の人は違うんだなと素人ながらに感心したものでした。YOSHIKIさんは番組終了後、「自分は運が良かっただけ」と謙遜していましたが、誰が見ても運だけで14連勝もできないよなと思いつつ、そんな彼のえらぶらない振る舞いにも感心させられました。



ところで皆さんは、ご自身が運がいい、悪いのどちらのタイプだと思っていますか。そもそも「運」とは何なのかを辞書で調べてみると、「幸、不幸などをもたらす、状況を動かしていく、人の力ではどうすることもできない作用。巡り合わせ。運命」とありました。日常生活の中でも「マイナスの言葉を口にしてると不運を呼び寄せる」とか「人に情けをかけると巡り巡って自分にいいことが返ってくる」などと昔から言われていたりします。ここでスピリチュアルなことを話題にするつもりはありませんが、できることなら運だって味方につけておくことができたらと思ったりしています。

実はこの「運」について、真面目に研究に取り組んだ人がいたことを知りました。英国の心理学者でリチャード・ワイズマンという学者で、彼は、8年間もかけて1000人以上の「運がいいと思う人」と「運が悪いと思う人」を対象に調査を行い、両者の違いがまったくの偶然なのか、それとも何か不思議な力が働いているのかを検証したというのです。

信じる信じないは皆さんにお任せするとして、研究の結果、「運」とは単なる偶然やスピリチュアルな世界のものではなく、個々の人間の意思や行動の選択によるものが大きいということをつきとめ、さらには、「運」をよくするには「4つの法則」があることを導き出したというのです。事実、ワイズマンは別の実験で、運が悪いと思う人に、運がいい人が普段行っているような言動を意識して行うように指導したら、なんと約80%の人が運が良くなったと実感し、しかも幸福感も高まったというのです。

さて、肝心の「運」をよくする「4つの法則」ですが、その一つ目の法則が、「**チャンスを最大限に広げるようにする**」とのことです。運がいい人というのは、様々な活動に参加していて人脈が広く、「人とのネットワーク」も豊富とのことです。たくさんの人に出会うことによって、これまで自分にはなかった知識や経験を得ることで、自然とチャンスと巡り合う可能性も高まっていくといえます。

二つ目が、「**虫の知らせを聞き逃さない**」です。運がいい人の約90%は、自分の直感を頼りにしている傾向が強いとのことです。直感力のある人は、これまでの常識や先入観から解放されていて、日頃から心に余裕があってリラックス状態にあるといえます。確かに毎日セカセカした生活を送っていると、微妙な変化に気づく力も弱まってしまうのかも知れません。

三つ目が、「**幸運を期待する**」です。運がいい人は、自分の夢や目標に向かって、一度や二度失敗してもあきらめずに努力ができる人であるといえます。「できない」、「やれない」と理由をあげて自分の殻を破れずにいると、せっかくおとずれたわずかな可能性をも見逃してしまうのかも知れません。

最後の四つ目が、「**不運を幸運に変える**」です。運がいい人というのは、目の前の問題をいつまでも引きずる事なく、その問題を踏み台にして成長していこうとするポジティブ（楽観的）さがあるといえます。よく「あの辛い経験があったからこそ今の自分がある」と語る人がいますが、失敗や苦難を真正面から引き受けて、次のステップへのチャンスと受け止めることができるかが、分かれ道なのかも知れません。

あらためてこの4つの法則を見てみると、「運」を引き寄せるためには受け身であっては難しいようです。「自分が変わろう」、「自分が変えてみよう」と思い、そして行動を起こすことで、新たな空気が生まれ流れ出るのかも知れません。

令和3年度の「清新中学校だより」も最終号となりました。今月9日は第49回の卒業証書授与式となります。これまで清新中学校の顔となり先頭に立って頑張ってきてくれた3年生に心からの感謝と新たな社会での活躍を願い、卒業生一人ひとりに心を込めて卒業証書を手渡したいと思っています。

(注)『運のいい人の法則』（リチャード・ワイズマン著 矢羽野薫訳 角川文庫）から一部引用



「21世紀を生きる若者たちはたくましく育っています」

副校長 石井 紀子

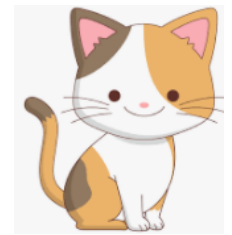
手話を1000語理解しているゴリラ「ココ」をご存じですか。ココについて深く知りたくて、「ゴリラと子ネコの物語」を取り寄せました。なぜココの存在を知ったかという、養老孟司さんの愛猫まるが18歳（皆さんより年上です！）で亡くなったことを知り、どのように養老さんとまるが生きてきたのか知りたくて「まるありがとう」という本を購入し、その中で養老さんがココについて触れていたからです。



うちの猫は私が何を言っているか理解していると思われることがたびたびありましたが、ココの本を読んで、「やっぱり話せないだけで全部わかっているんだ！」ととても納得しました。そして私自身、「ごはんください」「猫草ください」「トイレに行きたいのでお腹をもんでください」「遊んでください」「なでてください」「満足です」「やめてください」などの猫の要求や感情は、目や鳴き方の感じ、のどのならし具合や尻尾の太さ等でだいたいわかるようになってきたのです。

猫が何を考えているか日々想像することで、人が考えていることを想像する力も前よりついてきた気がしています。そう考えると、人の気持ちを考える力というのはもともと備わっているのではなく、訓練して身につく物なのだとこのことを改めて実感しています。そのことは司馬遼太郎さんが「21世紀に生きる君たちへ」の中で触れていました。最近この本を読み返して、司馬さんが21世紀を生きる若者に期待した人物像に、皆さんは近づいているのではないかと思います。

2年間大変な状況が続いていますが、それに振り回されず自己を確立し、いたわりの気持ちをもって助け合いながら生きている。どんな状況の中でも投げやりにならず、前を向いて進んでいる。司馬さんに「21世紀を生きる若者たちはたくましく育っています」と報告したい気持ちです。私自身もう一度原点に戻り、大切な物は何かを考えて生活したいと思います。そしていつかまた当たり前の生活が戻ってきたときに、自分の中に何か新しい感覚が生まれているのではないかと期待もしています。



生徒の皆さん、今回はいくつかの本の紹介もしてみました。本を通じて、会えるはずのない方とも対話ができ、自分の世界が広がります。気になる本があったらぜひ読んでみてください。（この原稿は2022年2月22日、猫の日に書きました=^_^=）

3・4月の主な日程

※下記の日程につきましては、今後変更が予想されます。ご了承ください。

令和4年3月

- 1日（火） 共通選抜合格発表
- 2日（水） 卒業式予行 PTA本部会
- 3日（木） 生徒会委員会
定通分割選抜及び二次募集に係る募集～4日 諸活動なし
- 7日（月） 定通分割選抜及び二次募集に係る志願変更～8日
諸活動なし～10日
- 9日（水） 第49回卒業証書授与式
1・2年生臨時休業
- 10日（木） 追加の検査 PTA実行委員会
二次募集学力検査・面接等
- 11日（金） 定通分割選抜学力・特色検査
・面接等
- 14日（月） 定通分割選抜学力・特色検査
・面接等 諸活動なし
- 15日（火） ときわぎ級新入生保護者会
- 16日（水） 追加の検査・二次募集合格発表
- 17日（木） 2年生修学旅行保護者会
諸活動なし
- 18日（金） 定通分割選抜合格発表
生徒会中央議会



- 21日（月） 春分の日
- 22日（火） 定通二次募集～23日
諸活動なし～25日
- 24日（木） 定通二次募集志願変更
各学年学年末OT
- 25日（金） 3学期修了式・離任任式
定通二次募集面接・作文
- 26日（土） 春休み～4月6日
- 29日（火） 定通二次募集合格発表
- 4月
- 7日（木） 1学期始業式・着任式
第52回入学式 諸活動なし
- 8日（金） 学年始めOT 教科書配付
個人写真撮影 生徒会OT
- 11日（月） 身体測定・聴力検査（1・3年）
諸活動なし
- 13日（水） 3年生授業参観・保護者会
- 14日（木） デリバリー給食開始
- 19日（火） 3年生全国学力学習状況調査
1・2年生学習診断試験
- 22日（金） 1年生授業参観・保護者会
- 26日（火） 2年生・ときわぎ級授業参観
・保護者会

